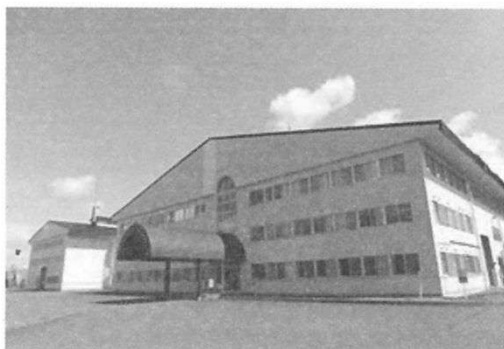


## 特集 北海道

「抽出・濃縮」、千歳工場で受託対応  
行者ニンニクで新データ、エキス原料の供給視野に  
浜理PFST 千歳工場



浜理薬品工業(株)の子会社である浜理PFST(株)千歳工場(千歳市泉沢)は、原葉や、野菜、果物の濃縮液の製造を手掛ける。新千歳空港近くの千歳臨空工業団地内に食品工場、抽出棟、医薬品合成工場を構える(工場敷地56,769㎡、延床面積9,769㎡)。食品工場では、主に北海道産の野菜や果物の濃縮液を製造。抽出釜、遠心分離機、濃縮機、低温プレート型滅菌機、チラー冷凍機などを設備するほか、分析機器を備えた試験室も設置している。ISO14001認証を取得、JFS-B、北海道HACCP自主衛生管理の認証も取得している。

同社では、野菜や果物の濃縮エキス、キノコ類の濃縮エキス、健康食品原料の濃縮エキスなどに対する近年の需要増を受け、北海道内のみならず、北海道外向けの受託加工事業を強化している。

薄膜式濃縮機とプレート型殺菌機により原料の風味の損失を抑えた濃縮エキスの製造が可能。ラボ試作、中間スケール製造、実製造サイズまで段階的な製造に対応する。また、例えば果物ベースで2tであれば、1ロット200~600Lの濃縮エキスに対応できるという。

同社では、素材の特徴を最大限に引き出せるように「現在は水抽出だが、エタノール抽出の溶媒設備も導入する」という。さらに、スプレードライヤー設備を導入し、エキスの受託製造や粉末品の商品開発を視野に入れている。

新たな取り組みでは、京都工芸繊維大学らとの共同研究で、北海道産行者ニンニクに高い抗酸化活性(スーパーオキシドラジカル)があることを確認した。研究成果は、8月の「日本食品科学工学会 第68回大会」で発表済み。引き続き、エビデンスのデータ蓄積を進め、「北海道産の行者ニンニクから抽出したエキスの製品開発を本格化させたい」としている。